

# 第46回 中国四国リハビリテーション 医学研究会

# 第41回 日本リハビリテーション 医学会 中国・四国地方会

プログラム・抄録集

会期 2018年 7月 15日(日)

会場 徳島大学大塚講堂

会長 加藤 真介

徳島大学病院リハビリテーション部



第46回中国四国リハビリテーション医学研究会  
第41回日本リハビリテーション医学会 中国・四国地方会  
開催にあたって

第46回中国四国リハビリテーション医学研究会  
第41回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会

会 長 加藤 真介

徳島大学病院リハビリテーション部  
部長・教授



この度、7月15日(日)に、第46回中国四国リハビリテーション医学研究会、第41回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会を、徳島大学蔵本キャンパス内の大塚講堂で開催させていただきます。

開催のご案内をいたしましたところ、地方会に10題、研究会には29題の演題登録をいただきました。福岡で開催されます日本リハビリテーション医学会の2週間後、パリで開催されます ISPRM の同じ週と、リハビリテーション関係の主要学会の直後にもかかわらず、多数の応募をいただきましたことを深く感謝いたします。

さて、本会では、二つの教育研修講演、一つのランチョンセミナーをお願いしております。

教育研修講演1：「日本理学療法士協会の生涯学習システム」

(公社)日本理学療法士協会 半田 一登 会長

教育研修講演2：「アスリートの腰痛 ～非特異的腰痛をリハで攻略～」

徳島大学大学院運動機能外科学(整形外科) 西良 浩一 教授

ランチョンセミナー：「脳卒中後痙縮に対するボツリヌス治療」

独立行政法人国立病院機構 徳島病院 神経内科 塚本 愛 先生

いま、超高齢社会を支えるリハビリテーション医学・医療の標準化が大きな課題となっています。これに対し、日本リハビリテーション医学会(JARM)は、『リハビリテーション医学・医療コアテキスト』を発刊し、会員向けの

e-learning を準備し、JARM 主催の講習会・研修会の見直しなど、鋭意取り組んでいます。このなかで、リハビリテーション関連職種の生涯教育は極めて重要です。日本リハビリテーション医学会では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・義肢装具士の各協会会長に特任理事に就任していただいで連携を強化するとともに、日本リハビリテーション医学関連専門職認定機構を設立するなど、これに積極的に関わっていかうとしています。半田会長のご講演は時宜を得たものになると思います。

腰痛の85%は非特異的(原因不明)だと言われていましたが、近年、その多くは原因の診断ができることが明らかになってきました。アスリートの腰痛治療の第一人者である西良浩一教授のもとには、こどもから一流プロ選手まで腰痛に悩むアスリートが全国から集まり、そして競技に復帰していています。超低侵襲手術手技という切り札をお持ちですが、アスリートを全人的に評価し、それに基づいたリハビリテーションをしっかりと行うというリハビリテーションの基本が守られていることも成功の大きな要因だと思います。西良先生からアスリートの腰痛治療の最先端を学ぶことは、明日からの日常臨床に大いに役立つと確信しています。

痙縮を持つ患者に対するボツリヌス治療は、生活期においては重要な治療手段となってきました。しかし、まだ十分に広まっていない感があります。塚本先生は、本邦の第一人者である梶龍兒先生のもとで研鑽を積まれてきており、実践的なお話が伺えると思います。

四国地方の平年の梅雨明けは7月18日ごろだそうです。2011年に徳島で開催された時は大雨でしたが、今回は好天に恵まれ、三連休の中日は学会で学び、残りの二日は夏の徳島を満喫していただけることを祈念いたしております。

# ご 案 内

## 1. 参加者の皆様へ

- ① 当日は備え付けの参加登録票<sup>※</sup>に必要な事項を記入し、大塚講堂正面入口 第1会場前の受付で参加手続きをしてください。  
※参加登録票は本学会ホームページの「ご案内」からも事前にダウンロードできます。
- ② 受付にて参加費2,000円をお支払いの上、名札を受け取り、所属・氏名を記入し、必ず着用してください。名札のない方の入場はお断りいたします。
- ③ 地方会会員の方には受付で抄録集をお渡しします。研究会会員の方には事前に抄録集を配送しますので、抄録をご持参ください。抄録をお忘れの場合は、1冊500円にて販売させていただきます。
- ④ 各学会・医師会の研修単位申請を希望される方は受付にて手続きを行ってください。
- ⑤ 中国四国リハビリテーション医学会研究会に入会を希望される方は新入会受付にて手続きを行ってください(日本リハビリテーション医学会中国四国地方会の当日受付はありません)。
- ⑥ 学部学生(大学院生を除く)および専門学校生は参加費が免除になります。受付で学生証(身分証)を提示ください。

## 2. 演者の皆様へ

- ① 発表時間は6分間、討論は3分間です。
- ② プレゼンテーション用 PowerPoint スライドは、事前登録とします。学会当日の試写はありません。また、学会当日にはスライド変更は受け付けません。
- ③ 発表形式は Windows 版 Microsoft PowerPoint を用いた口述発表のみとします。スライドの種別は Windows 版 Microsoft PowerPoint 2013で再生可能なスライドで作成してください。また、機種依存文字は使用しないでください。Mac 版 Microsoft PowerPoint は対応できませんので、あらかじめご了承ください。スライドは標準画面(4:3)にて作成してください(ワイド画面16:9で作成された場合、ずれが生じる可能性があります)。
- ④ スライドショーでのスライド枚数に制限はありません。6分間の発表時間に収まるようご調整ください。
- ⑤ 作成されたプレゼンテーション用 PowerPoint スライドは、ファイル名を「氏名+日付」としてください(例:徳島太郎\_0101)。
- ⑥ 上記のスライドのファイルは2018年6月25日(月)までに、本会のホームページの「演者の皆様へ」内の「アップロード」に入り、オンライン登録してください。なお、登録頂いたファイルは本会終了後に事務局が責任をもって消去します。
- ⑦ 登録されたスライドの変更は、2018年6月25日(月)までとさせていただきます。変更の際は、事務局(rrehabil@tokushima-u.ac.jp)にも連絡をお願い致します。期日以降のスライドの変更は受け付けません。

⑧ プレゼンテーション用スライドの動作不良があれば、事務局よりメールにて連絡いたします。修正をお願いしたスライドの最終締め切りは2018年6月29日(金)となります。期日以降のスライド変更は受け付けません。

⑨ リハビリテーション科専門医試験受験予定で、本地方会で演題発表され、「地方会発表証明書」をご希望のかたには、お渡ししますので事前に事務局へお知らせください。学会当日事務局受付で発表証明書をお渡しします。

※地方会・研究会にて各一演題ずつ優秀演題を表彰いたします。優秀演題の発表者には表彰状と副賞5万円が贈呈されます。表彰式は発表会の次の総会時に行われます。

### 3. 座長の皆様へ

セッション開始10分前までに次座長席にお着きください。ご担当セッション内で活発な討議が行われるよう、お取り計らいください。

### 4. リハビリテーション医学会認定・専門医の皆様へ

本会では、生涯研修単位(以下、カッコ内は日本専門医機構認定リハビリテーション科専門医の単位数)を、教育研修講演1、2、ランチョンセミナーの受講で各10単位(1単位)、合計最大30単位(3単位)取得できます。単位取得ご希望の方は、受付にて各講演1,000円をお支払いください。また、地方会発表の筆頭演者はさらに自己申請により1演題10単位(1単位)が取得できます。なお、学会参加の単位数は10単位(1単位)となっておりますが、詳細につきましては、日本リハビリテーション医学会事務局にお問い合わせください。

### 5. 日本整形外科学会専門医の皆様へ

教育研修講演1、2およびランチョンセミナーの受講により教育研修単位各1単位取得できます。教育研修講演1は分野14-4<sup>\*</sup>、教育研修講演2は分野7(脊椎・脊髄疾患)と13(リハビリテーション)、ランチョンセミナーは分野8(神経・筋疾患)と13(リハビリテーション)の単位数に認定されています。

単位取得をご希望の方は、受付にて各講演1,000円をお支払いのうえ、各講演の開始時刻の前後10分間に、第1会場入り口付近の単位申請受付用コンピューターのカードリーダーに日整会会員カードを通して申請登録をしてください。日整会会員証カードを必ずご持参ください。

※保険医療講習会、臨床研究/臨床試験講習会、医療事故検討会、医療法制講習会、医療経済(医療保健など)に関する講習会、地域医療/医療福祉制度に関する講習会、専門医としての人間性並びに社会性向上に資する講習会(医師患者間のコミュニケーションに関する講演や専門領域以外の科学的もしくは文化的な講演などを含む)など

## 6. 理学療法士の皆様へ

日本理学療法士協会に申請中です。単位を取得される方は理学療法士協会の会員証をご持参ください。

## 7. 作業療法士の皆様へ

日本作業療法士協会 生涯教育基礎研修において、参加・発表で各1ポイントが取得できます。参加証や領収証のコピーを県士会総会時等に提示ください。

## 8. 言語聴覚士の皆様へ

日本言語聴覚士協会 生涯学習プログラムの参加1ポイントが取得できます。生涯学習プログラム終了申請の際に参加証や領収証(コピー可)を日本言語聴覚士協会事務所まで提出ください。

## 9. 理事会・幹事会のご案内

12時00分～13時00分 外来診療棟5階 日亜ホール White(ホール小)にて行います。役員の方は、午前の演題終了後に、大塚講堂階段下にお集まりください。

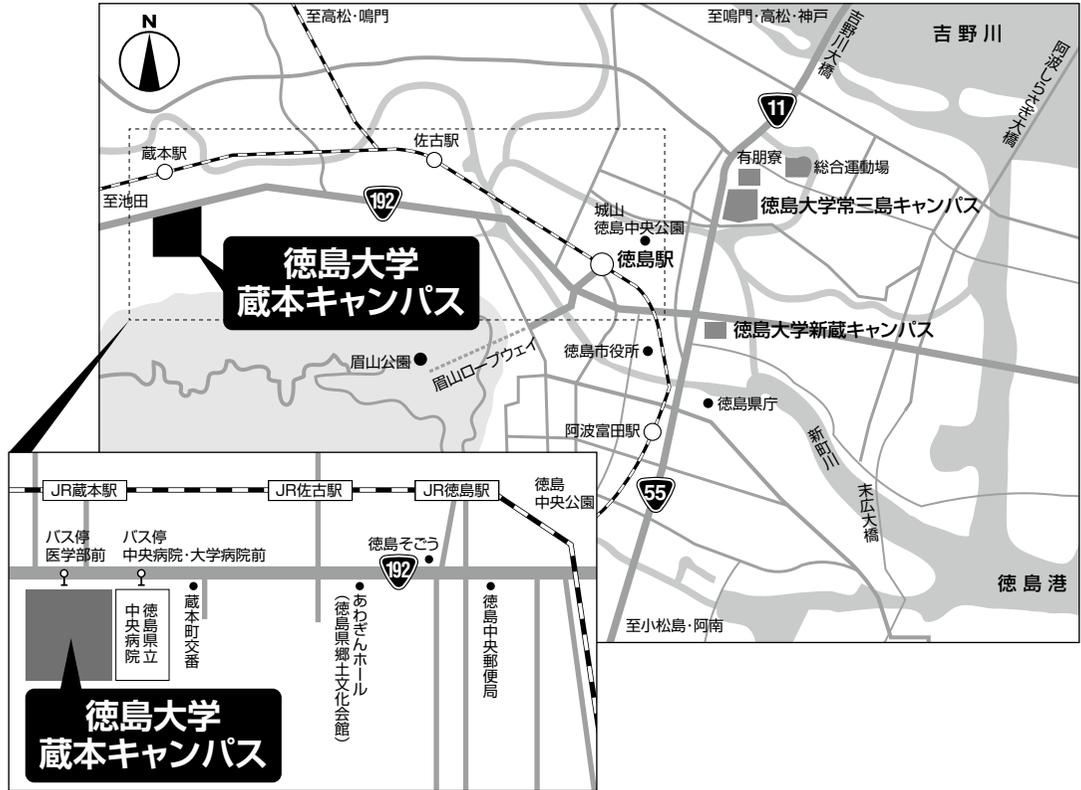
## 10. 総会のご案内

13時00分までに第1会場にお集まりください。

## 11. ランチョンセミナー

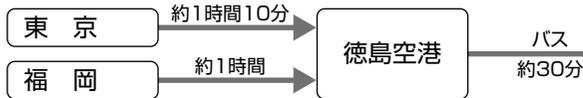
ランチョンセミナーには弁当が付きます。数に限りがございますのでご了承ください。

# 交通案内図



## 徳島までのアクセス

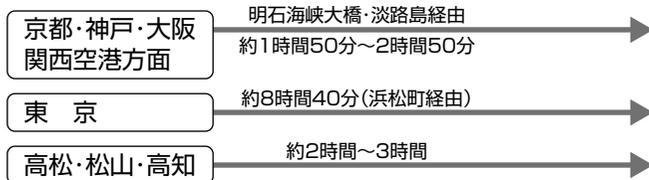
### ■ 航空機利用の場合



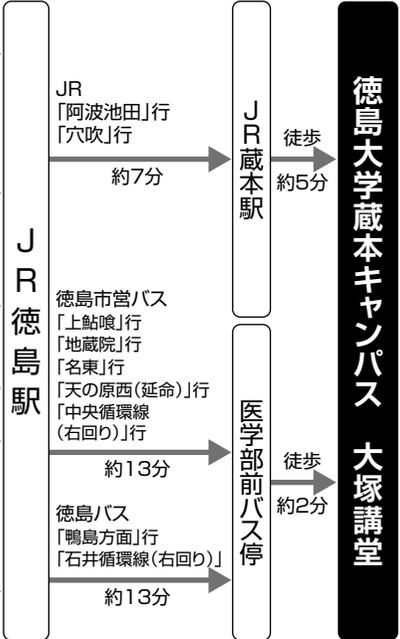
### ■ 鉄道利用の場合



### ■ バス利用の場合



### ■ フェリーボート利用の場合



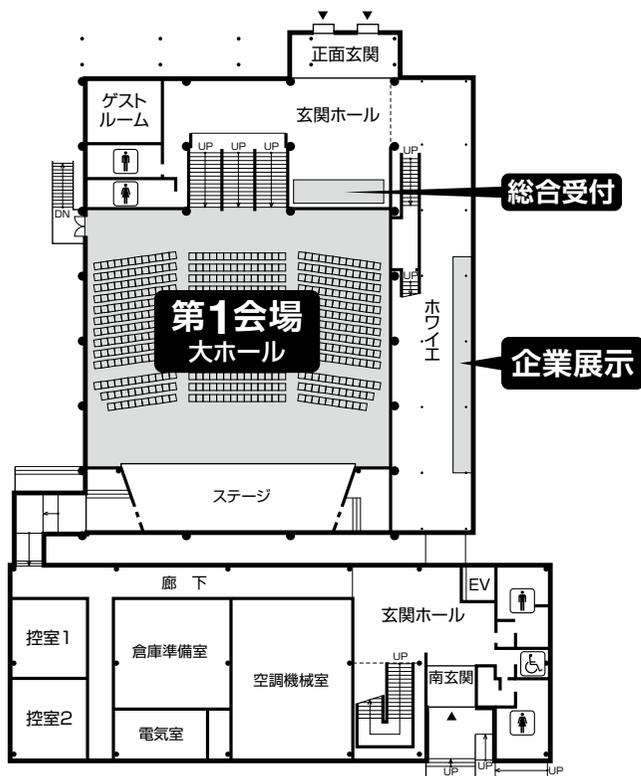
# 構内案内図



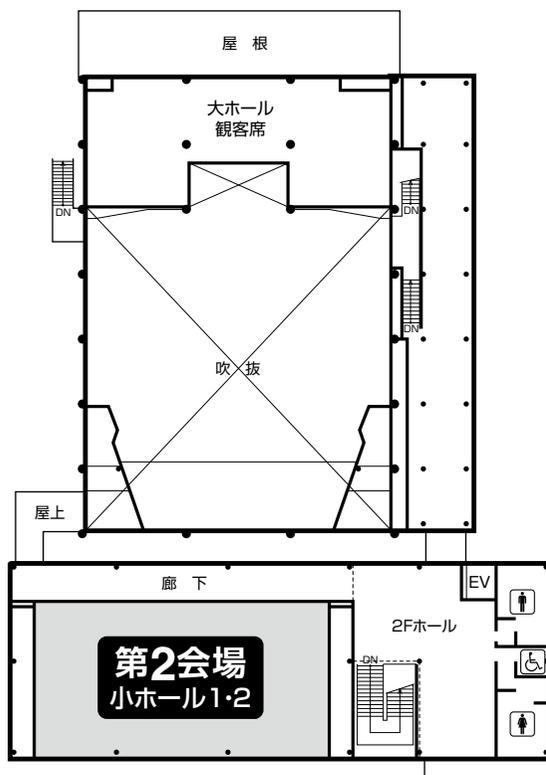
# 会場案内図

徳島大学大塚講堂

1F



2F



# 日 程 表

7月15日(日)

		徳島大学 大塚講堂		徳島大学病院 外来診療棟	
		第1会場	第2会場	展示会場	理事会会場
		1階 大ホール	2階 小ホール	1階 ホワイエ	5階 日垂ホールWhite小
9:00	9:00~9:05 開会挨拶				
	9:05~9:45 <b>研究会 1 (01~04)</b> 座長：後藤 強	9:05~9:45 <b>研究会 3 (18~21)</b> 座長：榎 勇人		9:00 } 15:30  企 業 展 示	
10:00	9:45~10:15 <b>研究会 2 (05~07)</b> 座長：近藤 心	9:45~10:25 <b>研究会 4 (22~25)</b> 座長：河野 博史			
	10:15~10:45 <b>地方会 1 (08~10)</b> 座長：江西 哲也	10:25~11:15 <b>研究会 5 (26~30)</b> 座長：岩佐 英士			
11:00	10:45~11:25 <b>地方会 2 (11~14)</b> 座長：稲次 美樹子	11:15~11:55 <b>研究会 6 (31~34)</b> 座長：東田 武志			
	11:25~11:55 <b>地方会 3 (15~17)</b> 座長：米津 浩				
12:00		12:00~13:00 <b>ランチョンセミナー</b> 塚本 愛 先生 座長：田岡 祐二 共催：グラクソ・スミスクライン株式会社			12:00~13:00 <b>理事会・幹事会</b>
13:00	13:00~13:30 <b>総 会</b>				
14:00	13:30~14:30 <b>教育研修講演 1</b> 半田 一登 先生 座長：加藤 真介				
15:00	14:30~15:30 <b>教育研修講演 2</b> 西良 浩一 先生 座長：三上 浩				
16:00	15:30~16:20 <b>研究会 7 (35~39)</b> 座長：岡久 哲也				
	16:20~ 閉会挨拶				

# プログラム

**開会挨拶** 9:00～9:05 第1会場(大ホール)

大会長 加藤 真介(徳島大学病院リハビリテーション部 部長・教授)

**研究会1** 9:05～9:45 第1会場(大ホール)

座長: 後藤 強(徳島大学病院)

- 01** Plug In Gait と Point cluster Technique の膝関節角度の精度比較  
徳島大学病院 リハビリテーション部 岡久 哲也 24
- 02** 超音波検査装置を用いた屈筋腱縦径変化および検査信頼性に関する予備的研究  
徳島県鳴門病院 リハビリテーション部 里浦 雅也 26
- 03** 立位姿勢を模倣することで荷重量を判断できるか?  
— 一定圧測定器を用いた検討 —  
因島医師会病院 リハビリテーション科 中本 佑也 28
- 04** 呼吸機能検査と簡易型呼気計測器による測定値の関連について  
因島医師会病院 リハビリテーション科 石部 貴之 30

**研究会2** 9:45～10:15 第1会場(大ホール)

座長: 近藤 心(徳島大学病院)

- 05** 当グループにおける離床コーディネーターの役割  
— 離床コーディネーター配置による離床効果の検証 —  
医療法人平成博愛会 博愛記念病院 リハビリテーション科 村田 千草 32
- 06** 精神状態が動作に及ぼす影響～転倒恐怖感に着目して～  
医療法人健応会 福山リハビリテーション病院  
リハビリテーション部 高下 千恵 34
- 07** 入院中の軽度認知障害患者に対する集団リハビリテーションと  
机上課題の与える効果について  
医療法人平成博愛会 徳島平成病院 リハビリテーション科 柳本 麻里 36

**地方会 1** 10:15～10:45

第1会場(大ホール)

座長：江西哲也(徳島市民病院)

- 08** 当院におけるリハビリテーション依頼の動向  
徳島大学病院 リハビリテーション部 森脇 好乃美 38
- 09** 徳島県における大規模災害時のリハビリテーション体制整備の問題点  
徳島大学病院 リハビリテーション部 森脇 笙 40
- 10** 広島市更生相談所における高額大腿義足の支給状況  
広島市立リハビリテーション病院 杉原 勝宣 42

**地方会 2** 10:45～11:25

第1会場(大ホール)

座長：稲次 美樹子(稲次病院)

- 11** 多職種医療者の連携した治療により ADL が回復した全身熱傷の1例  
香川県立中央病院 リハビリテーション部 小野 恭裕 44
- 12** 脳出血と狭心症を併発した患者に CPX で負荷量を決定し、  
自主トレ指導を行った一例  
南東北グループ 医療法人財団 健真会 総合東京病院  
リハビリテーション科 田中 友佳 46
- 13** 学校生活に困難を生じた高次脳機能障害児の長期経過  
鳥取県立総合療育センター 田邊 文子 48
- 14** 初発脳梗塞後に運転を希望し、その後てんかんに発症した2症例  
岡山リハビリテーション病院 山田 裕子 50

- 15 腸腰筋筋力の簡易定量化の確立～女性健常者における検討～  
徳島大学病院 リハビリテーション部 佐藤 紀 52
- 16 全身振動トレーニングを用いた膝痛に対する新たな外来リハビリの確立と  
その効果  
医療法人社団 こくぶりた こくぶ脳外科・内科クリニック 鵜川 裕司 54
- 17 リバース型人工肩関節置換術術後のリハビリテーション  
国立病院機構 高知病院 整形外科 福田 昇司 56

- 18 一過性のレペティション運動が血管内皮機能および呼吸循環応答に及ぼす影響  
徳島県鳴門病院 リハビリテーション部 田村 靖明 58
- 19 一過性の筋電気刺激が血管内皮機能に及ぼす影響  
徳島県鳴門病院 リハビリテーション部 森 和之 60
- 20 短時間ステップエクササイズトレーニングが高齢者の身体組成に及ぼす影響  
徳島県鳴門病院 リハビリテーション部 出口 憲市 62
- 21 一過性の片側自転車こぎ運動が血管内皮機能に及ぼす影響  
徳島県鳴門病院 リハビリテーション部 橋本 祐司 64

- 22 児童時期におけるバランス能力と身体活動量との関係性についての検討  
徳島県鳴門病院 リハビリテーション部 宮崎 友望 66
- 23 住民主体の健康教室及び身体活動量の変化が動脈機能・体組成におよぼす影響  
徳島県鳴門病院 リハビリテーション部 川村 圭司 68
- 24 中高齢者における腰椎前弯角度の違いがコアトレーニング後の  
重心動揺に及ぼす影響  
徳島大学病院 リハビリテーション部 後藤 強 70
- 25 介護施設入所高齢者の骨格筋肉量評価  
専門学校 健祥会学園 森下 照大 72

- 26 立位で経口摂取練習とセルフケア練習を行い意識レベルの改善を認めた一例  
医療法人健応会 福山リハビリテーション病院  
リハビリテーション部 井上 拓真 74
- 27 OHAT 日本語版を用いた口腔環境改善の取り組み  
徳島平成病院 リハビリテーション部 濱 弥生 76
- 28 当院成人脳卒中患者におけるせん妄の発症因子についての考察  
社会医療法人凌雲会 稲次病院 リハビリテーション部 土井 大介 78
- 29 家庭復帰の要因分析 成人支援施設の利用者の状況をとおして  
かがわ総合リハビリテーション成人支援施設 上川 毅 80
- 30 介護予防における「通いの場」立ち上げ支援の効果  
～運動効果の経時的変化に着目して～  
浜脇整形外科病院 リハビリテーション科 米澤 香 82

座長：東田 武志(小松島病院)

- 31 痙性抑制スプリントにより長期的な痙縮が改善した一例  
徳島大学病院 リハビリテーション部 三吉 真代 84
- 32 交通事故で頸髄損傷を受傷した医師の復職に向けて  
山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 木村 真弓 86
- 33 化学放射線治療中の頭頸部癌患者に対するリハビリテーション栄養介入は  
二次性サルコペニア発生予防可能か？  
徳島大学病院 リハビリテーション部 古本 太希 90
- 34 食道癌における術後肺炎を予測する術前身体測定項目についての検討  
徳島大学病院 リハビリテーション部 近藤 心 92

座長：田岡 祐二(橋本病院)

### [ 脳卒中後痙縮に対するボツリヌス治療 ]

塚本 愛 先生 独立行政法人国立病院機構 徳島病院 神経内科

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

座長：加藤 真介(徳島大学病院)

### [ 日本理学療法士協会の生涯学習システム ]

半田 一登 先生 (公社)日本理学療法士協会 会長

[ アスリートの腰痛 ～非特異的腰痛をリハで攻略～ ]

西良 浩一 先生 徳島大学運動機能外科学 教授

- 35** 開大式高位脛骨骨切術における同時両側施行例と二期的施行例の比較検討  
独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター  
リハビリテーション科 篠崎 知里 94
- 36** 膝前十字靭帯再建術術前リハビリテーションにて胸腰椎伸展可動域が改善し  
スクワット動作が良好となった症例  
徳島大学病院 リハビリテーション部 友成 健 96
- 37** 回復期病棟における入院時の下肢筋力が退院時の身体機能に与える影響  
～大腿骨近位部骨折術後症例での検討～  
医療法人徳寿会 鴨島病院 リハビリテーション部 上岡 優弥 98
- 38** 人工骨頭置換術症例の排泄動作自立の検討  
一筋力と術側荷重量の評価から一  
JA 徳島厚生連 吉野川医療センター リハビリテーション科 長篠 孝宏 100
- 39** 高齢大腿骨転子部骨折における骨折型の違いが術後早期歩行能力と  
機能回復に及ぼす影響  
吉野川医療センター リハビリテーション科 後藤田 晶 102

大会長 加藤 真介(徳島大学病院リハビリテーション部 部長・教授)

A series of horizontal dashed lines for writing.

## Plug In Gait と Point cluster Technique の膝関節角度の精度比較

1) 徳島大学病院リハビリテーション部 2) 徳島大学病院リハビリテーション科

○岡久 哲也<sup>1)</sup>・佐藤 紀<sup>2)</sup>・加藤 真介<sup>2)</sup>

## 【はじめに】

膝前十字靭帯 (ACL) 損傷の 70% は Non-Contact による損傷であり、その大半はジャンプ、ストップ、方向転換動作での損傷である。Hewett ら<sup>1)</sup>は三次元動作解析の結果から、Drop Vertical Jump (DVJ) 時の膝関節外転角度が大きいと ACL 再断裂のリスクが高いことを報告しており、この方法は過去 10 年間 ACL 損傷関連の研究に用いられている。膝関節の角度変位の三次元動作解析には、様々な方法が用いられているが<sup>2)</sup>、過去の信頼性報告では屈曲角度における信頼性は高いものの、内外転、内外旋の角度は十分に信頼できる結果は得られていない。近年本邦で用いられている Point cluster Technique (PCT) は、創外固定器を装着した被験者による誤差検証により屈曲、外転、内旋各々 3° 以内の精度が保証されており<sup>3)</sup>、内外転、内外旋の角度変化をより精度よく測定することが期待できる。しかし、ジャンプ着地動作に関して PCT の信頼性を調べた報告はない。今回、歩行と 2 種類の着地動作における膝関節角度の再現性を、従来の動作解析方法である Plug In Gait (PIG) と PCT で調べ、ACL 損傷患者の評価に臨床情報として適切に扱える精度があるかを検証することを目的とした。

## 【対象と方法】

被験者は、過去に下肢外傷の既往のない成人男性 7 名 (年齢 22.2±2.4 歳身長 173.8±6.4cm, 体重 75.2±8.6kg) であった。検者は P I G のみ一年間経験あり (tester1)、動作解析経験なし (tester2) の 2 名であった。

課題動作は通常歩行 (gait)、Drop Vertical Jump (DVJ)、Single Landing (SL) とした。歩行は自由歩行速度で 10m 歩行を行い、床反

力計に踵接地した瞬間から次の踵接地までを一歩行周期として膝の角度変化を計測した。DVJ は Hewett らの方法に準じて、30 cm の台の上から前方の床反力計に両足で落下し、着地後速やかに垂直方向に跳びあがる方法とした<sup>1)</sup>。右足側の床反力ベクトルが出現した時点を着地時点とし、着地前 0.1 秒から着地後 0.3 秒までの角度変化を計測した。SL は 30 cm の台の上から右片脚立位の状態で前方へ落下し、床反力計に右足のみで着地しそのまま静止する方法とし、着地前 0.1 秒から着地後 0.3 秒までの角度変化を計測した。いずれの動作も裸足で行わせた。運動学的データ計測は、3 次元座標計測 機器 VICON-MX system ( VICON MOTION SYSTEMS LTD-UK) と、床反力計 4 枚を使用した。直径 14 mm の赤外線反射マーカーを Plug in gait model (35 個) と Point cluster method (26 個) の定めるマーカー位置に各々同時に貼付け、サンプリング周波数 200 Hz で system 用ソフトウェア VICON NEXUS1.7 を用い、Plug in gait と Point cluster technique に基づき同一動作における右膝関節の屈曲/伸展、内転/外転、内旋/外旋の角度変位を算出した (図 2)。計測日に被験者に歩行、DVJ, SL の各動作をそれぞれ計 5 回行わせ、実測角度を静止立位における膝関節角度で補正した。これらを 5 日以上の間隔を空けて 3 日間行い、15 回の各セッション間におけるデータ曲線の一致度 Coefficient of Multiple Correlation (CMC) を Kadaba らによって記載された方法を用いて計算した<sup>5)</sup>。

## 【結果】

検者内、検者間信頼性は膝関節回旋可動域に関して PIG と比較して PCT の方が高いこと

Blank page with horizontal dashed lines for writing.

第46回中国四国リハビリテーション医学研究会  
第41回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会  
プログラム・抄録集

---

会 長：加藤 真介

事務局：徳島大学病院 リハビリテーション部  
〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1  
TEL：088-633-9313 FAX：088-633-7204  
E-mail：rrehabil@tokushima-u.ac.jp

出 版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<http://www.secand.jp/>



